

第1章 XEAD Modeler

1. 参考資料・ホームページ

(1) 『渡辺幸三の開発支援サイト』 <http://homepage2.nifty.com/dbc/>

XEAD Modeler を Eclipse3.7 でソースからコンパイル実行するまでの手順を説明します。

実行に必要とされる jar を個別に取得する必要がないように、XEAD Modeler をインストールし、配置された jar ファイルを参照します。

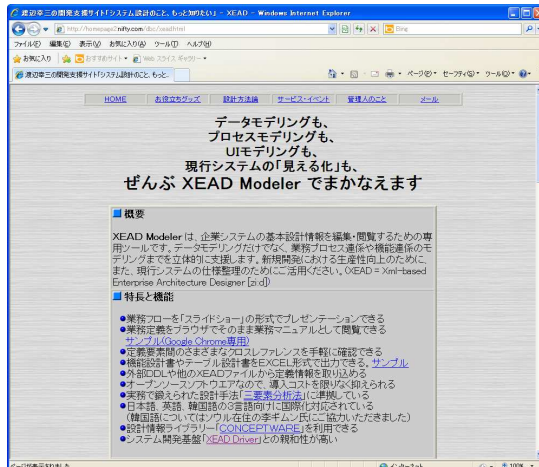
2. XEAD Modeler をダウンロード

渡辺幸三の開発支援サイト「システム設計のこと、もっと知りたい」

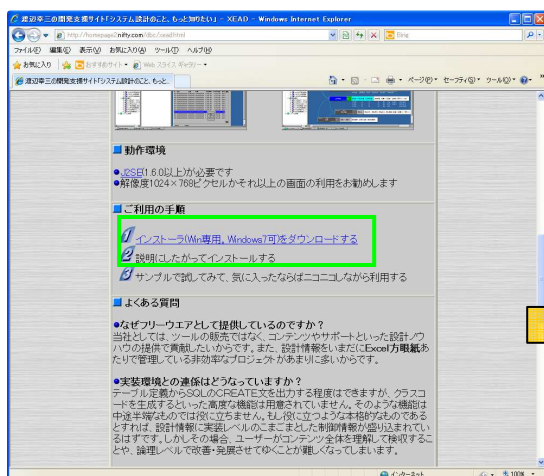
<http://homepage2.nifty.com/dbc/> を開く



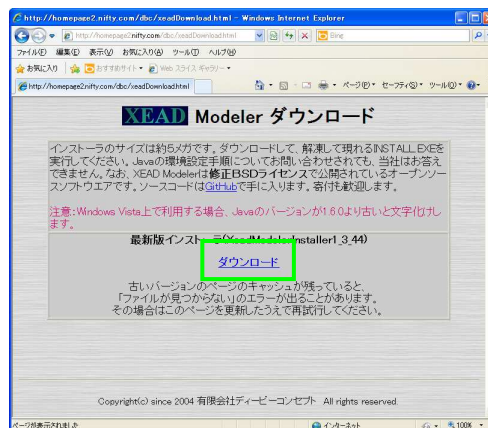
設計支援ツールを使ってレベルアップをクリック



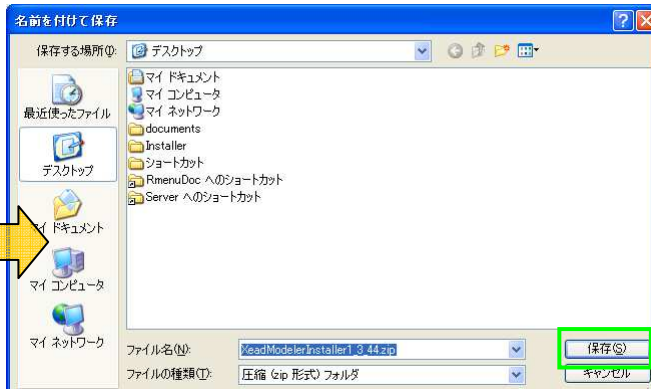
下へスクロール

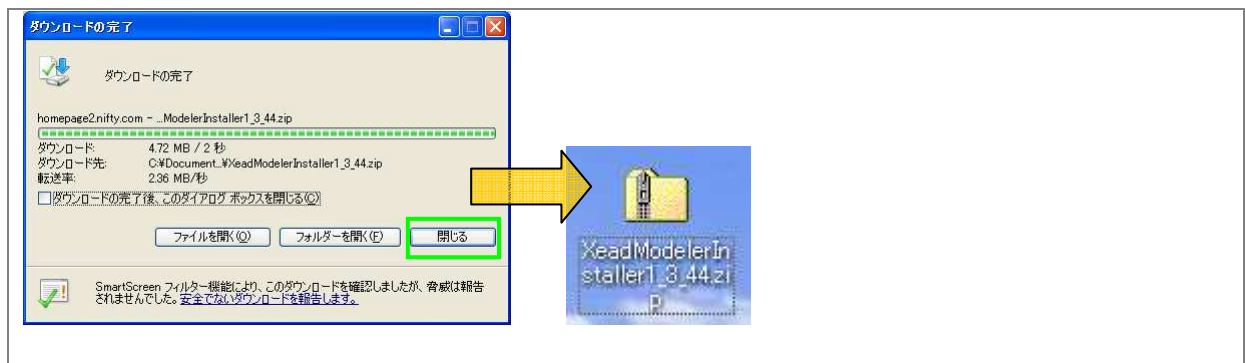


インストーラ (Win 専用。Windows7 可) をダウンロードするをクリック

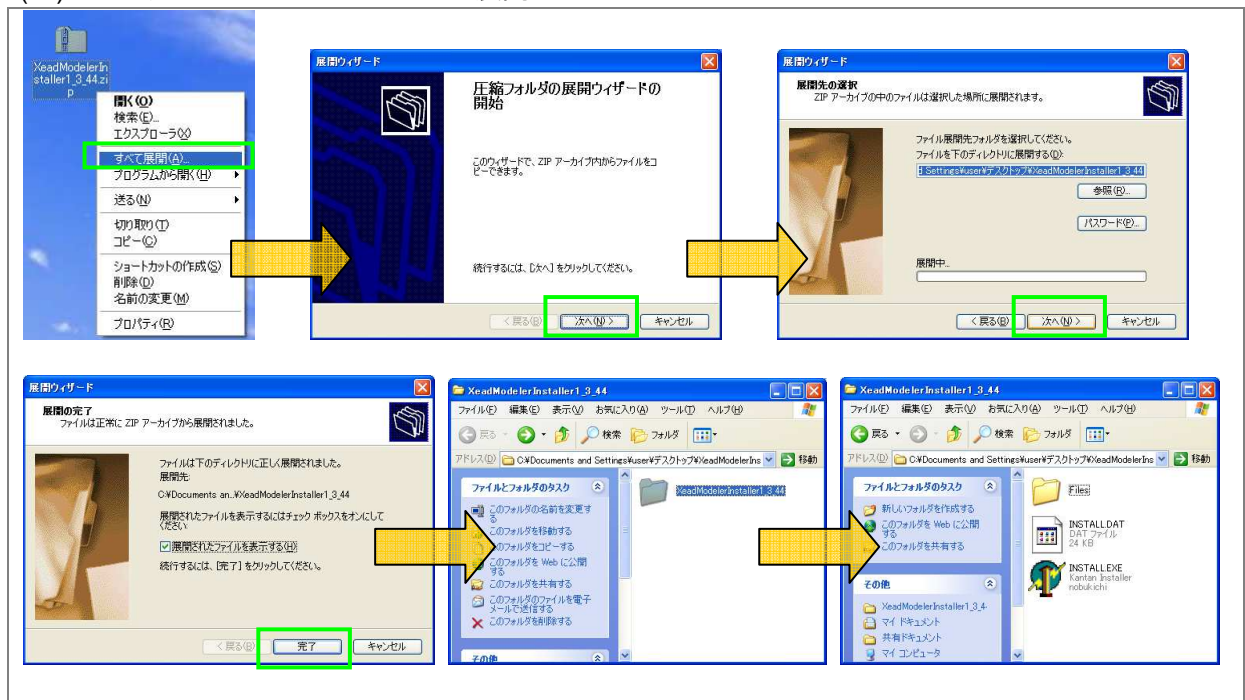


ダウンロードをクリック

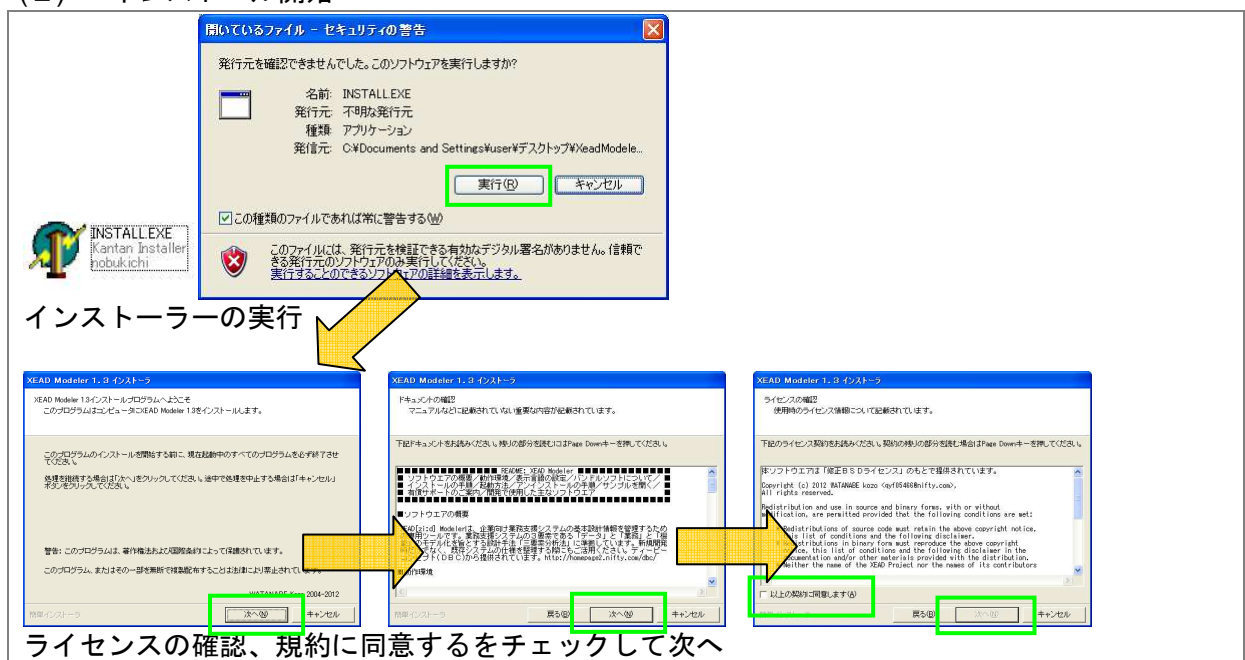


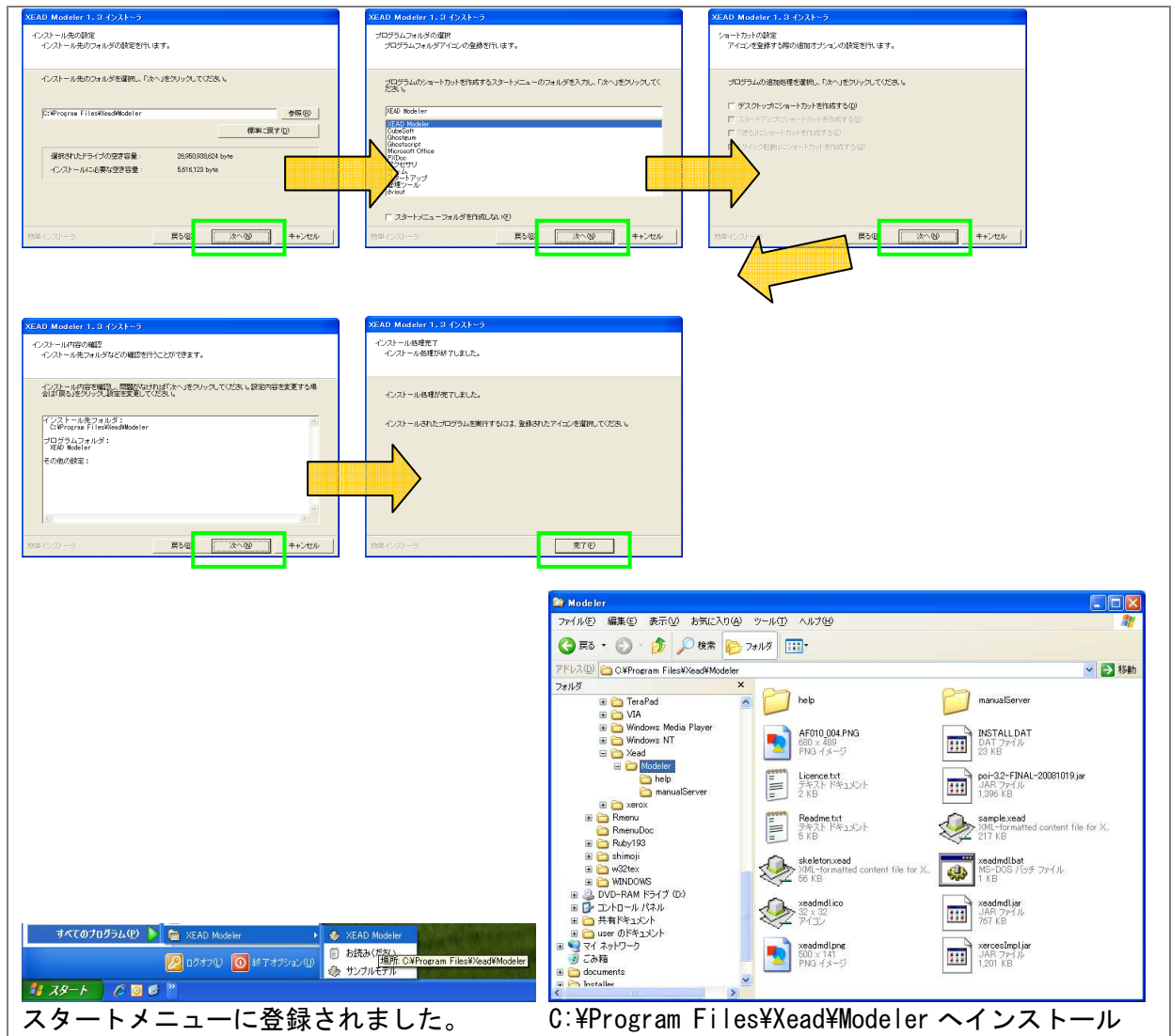


3. XEAD Modeler をインストール (1) ダウンロードしたファイルの展開



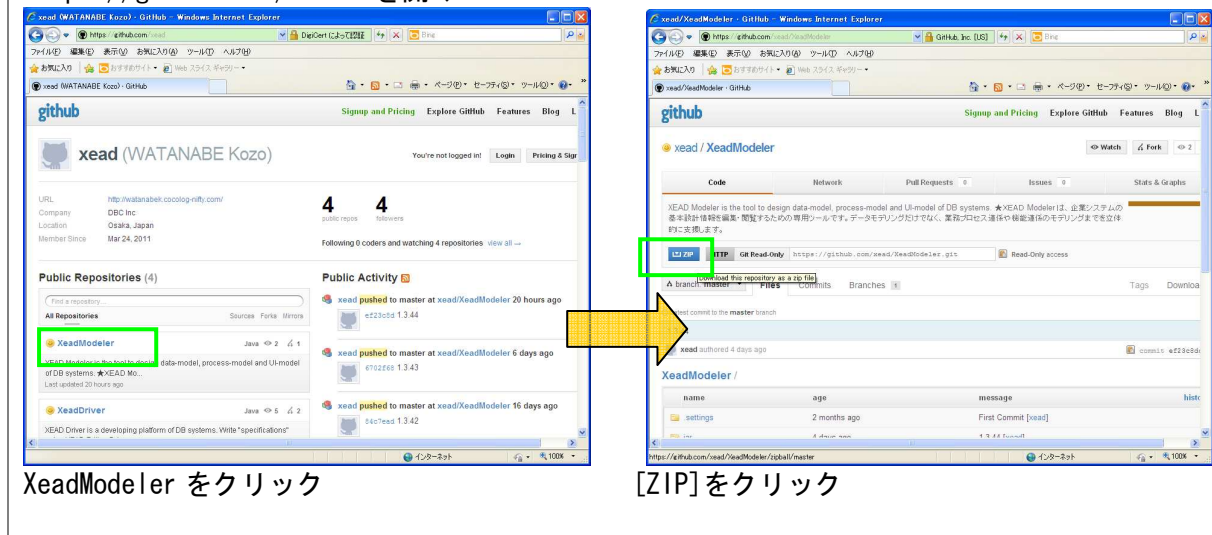
(2) インストール開始





4. Github からソースをダウンロード

<https://github.com/xead> を開く



デスクトップに保存しました。

圧縮ファイルをデスクトップに展開してください。

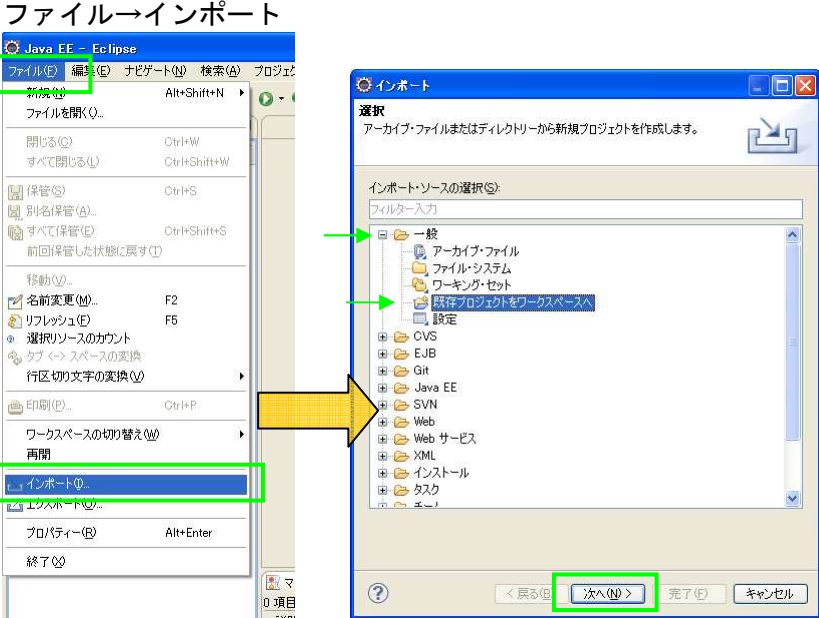
5. Eclipse3.7 Pleiades での読み込み

ワークスペース、wsXead を作成。

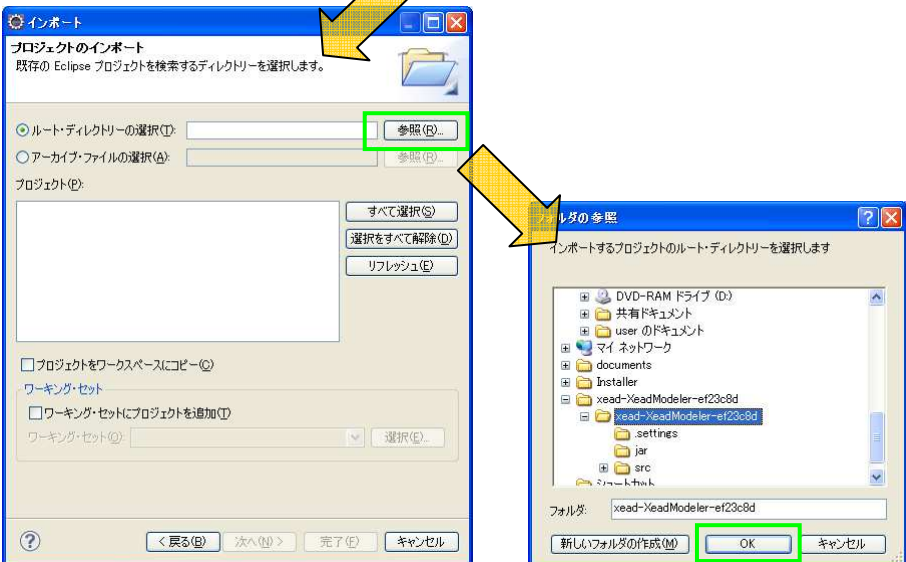
ファイル→ワークスペースの切り替え→その他

wsXead に変更して [OK]

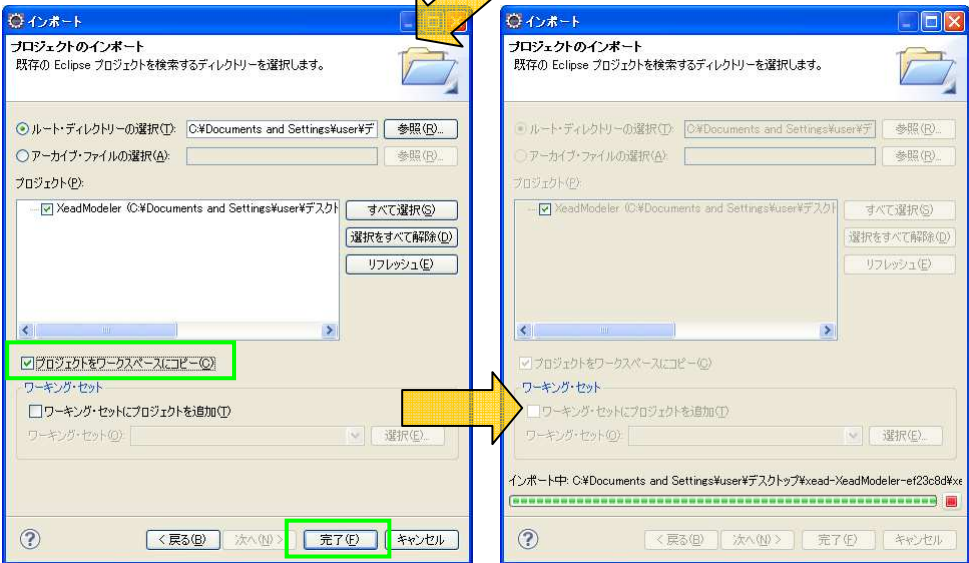
ファイル→インポート



一般を展開→既存のプロジェクトをワークスペースへをクリック→[次へ]

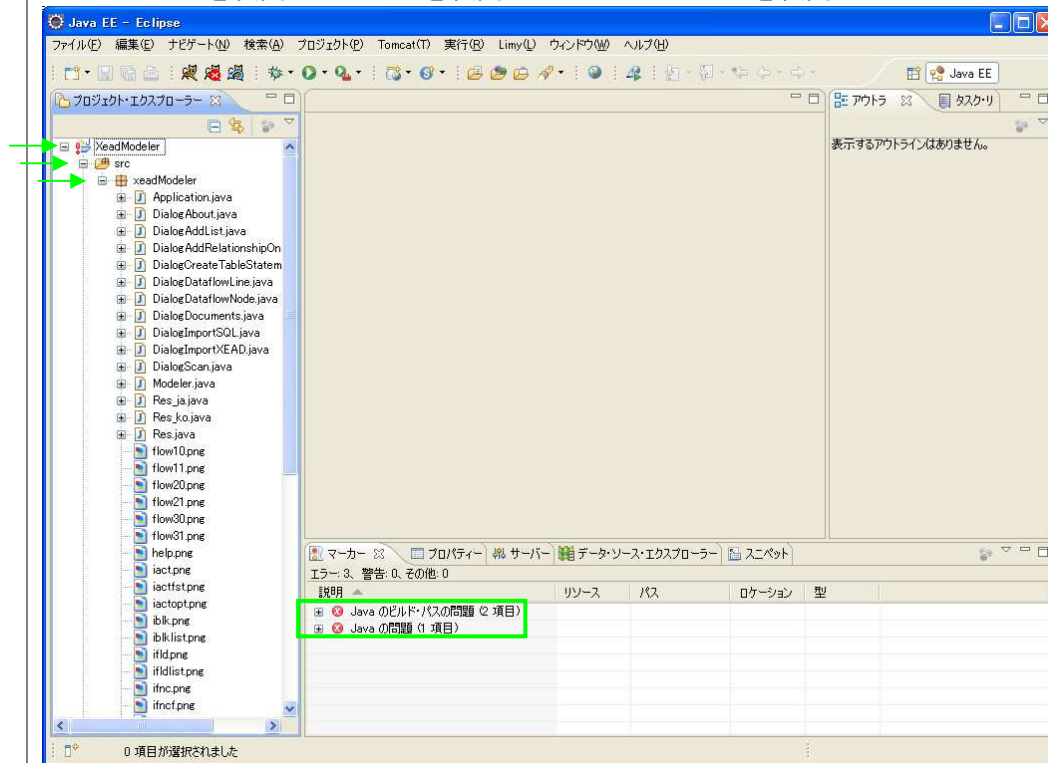


『C:\Documents and Settings\User\Desktop\Xead-XeadModeler-ef23c8d\Xead-XeadModeler-ef23c8d』を選択 [OK] をクリック



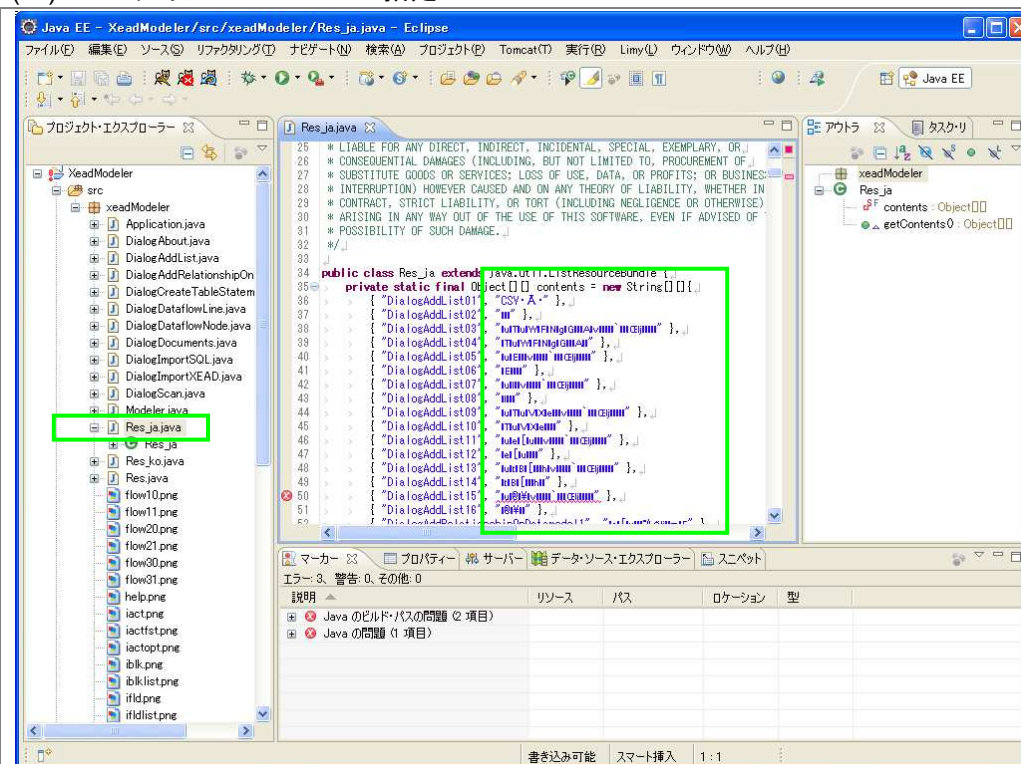
プロジェクトをワークスペースにコピーにチェック、[完了]をクリック

プロジェクトが読み込まれました。
 XeadModeler を展開 → src を展開 → xeadModeler を展開



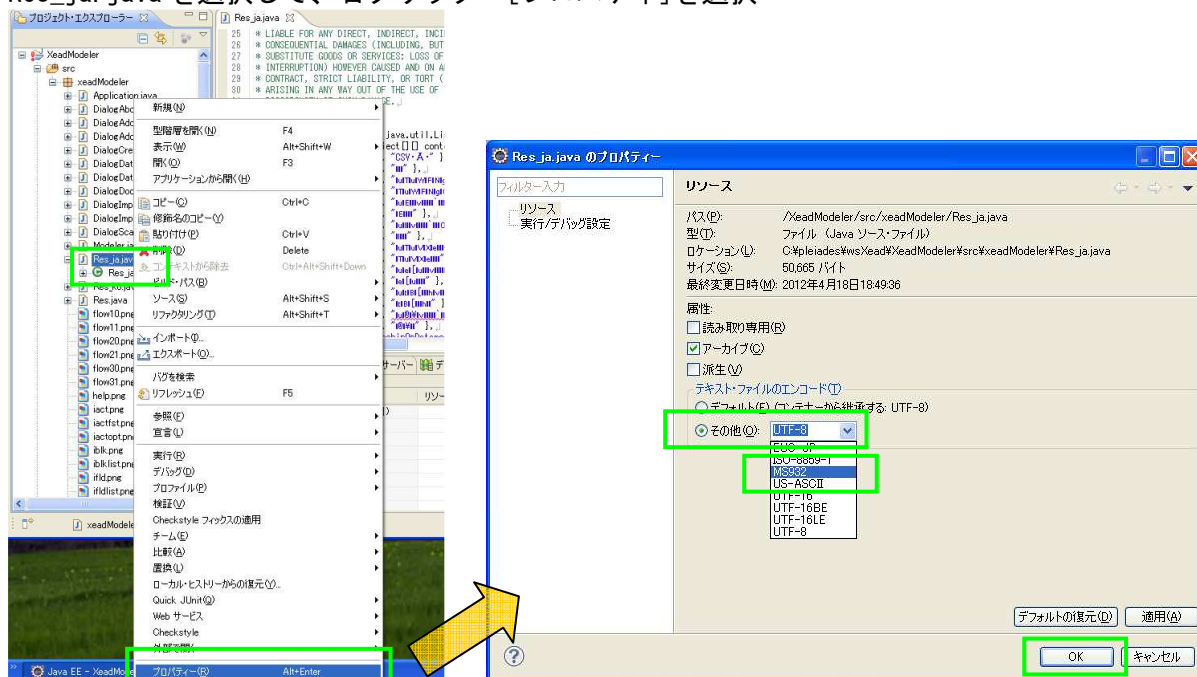
コンパイルエラーがあります。

(1) ファイルエンコードの指定

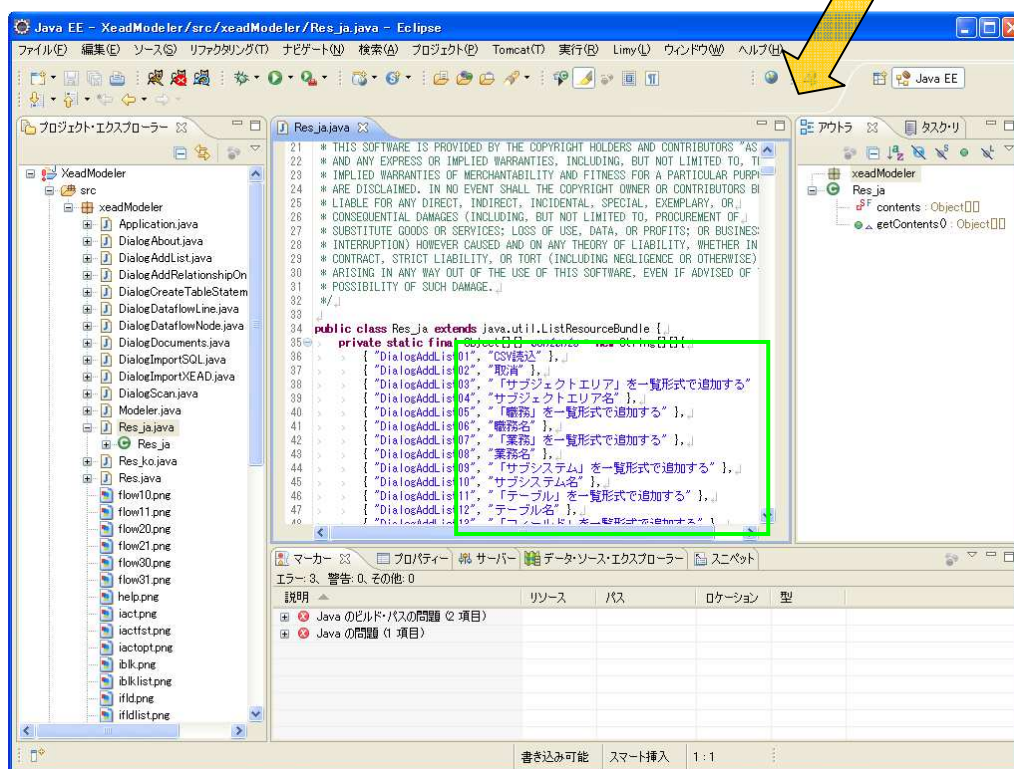


Res_ja.java をダブルクリックしソース 40 行目付近を確認すると文字化けしています。
 Eclipse3.7 Pleiades の文字コードが既定で UTF-8 なのでファイル単位で [MS932] に指定します。

Res_ja.java を選択して、右クリック→[プロパティ]を選択

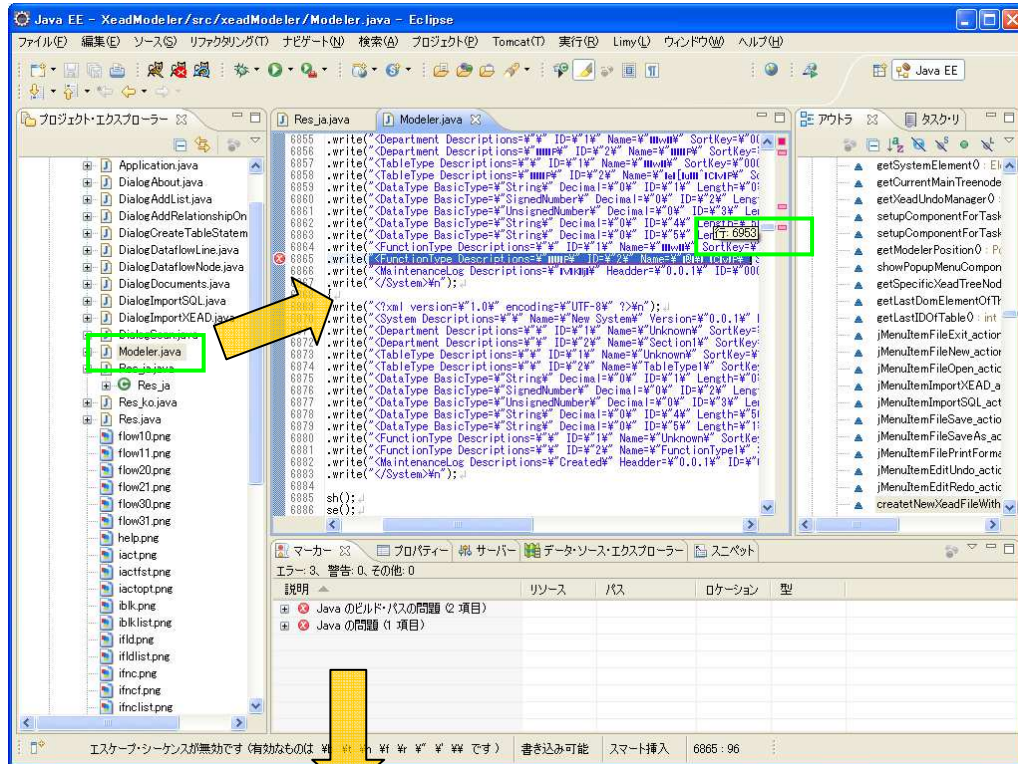


テキスト・ファイルのエンコードで、その他を指定
コンボボックスで[MS932]を選択し、[OK]をクリック

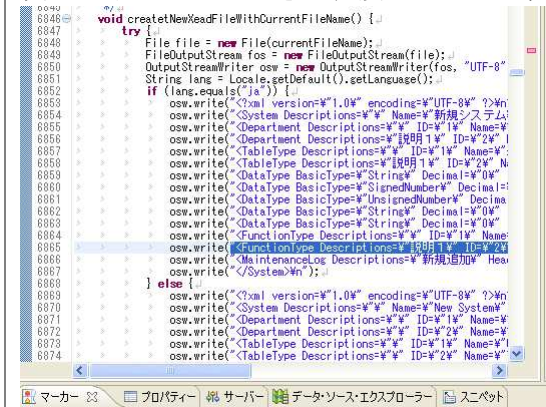


表示がリフレッシュされます。40 行目付近を確認すると文字の表示が正常になっています。

続いて、Modeler を開き 6950 行付近を確認すると文字化けしています。
テキスト・ファイルのエンコードを [MS932] に設定してください。



表示がリフレッシュされ、漢字が正しく表示されます。



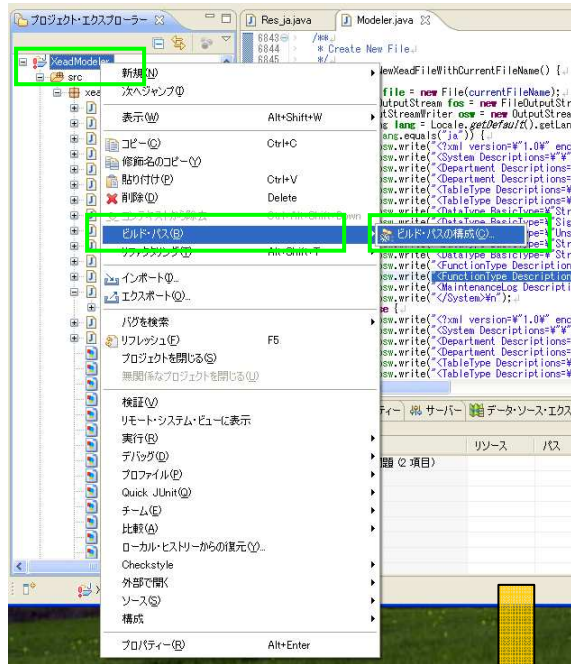
(2) ビルドパスの構成を変更する。

開発環境と同じ場所へ、参照されている JAR を置くか参照パスを変更します。

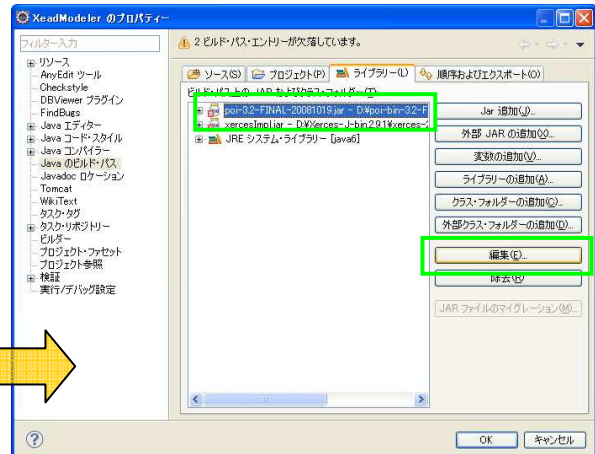
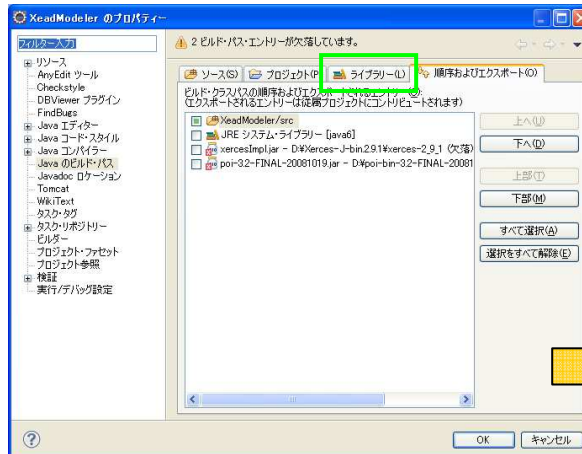
今回は、XEAD Modeler の実行プログラムのインストール先を指定します。

XeadModeler プロジェクトを選択し、右クリック

ショートカットメニューから、ビルドパス → ビルドパスの構成を選択してください。

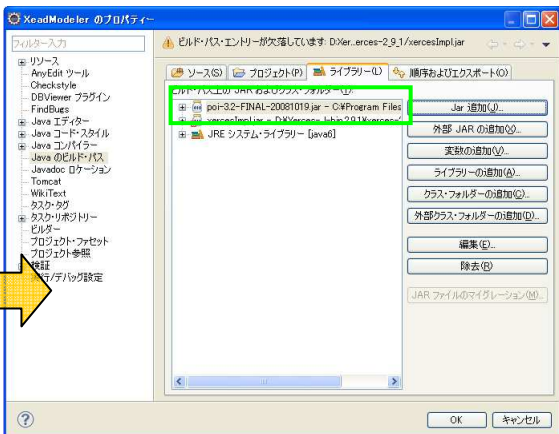
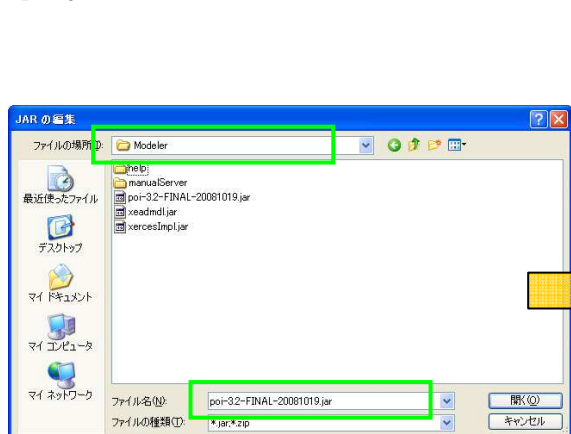


2 ビルド・パス・エントリが欠落しています。



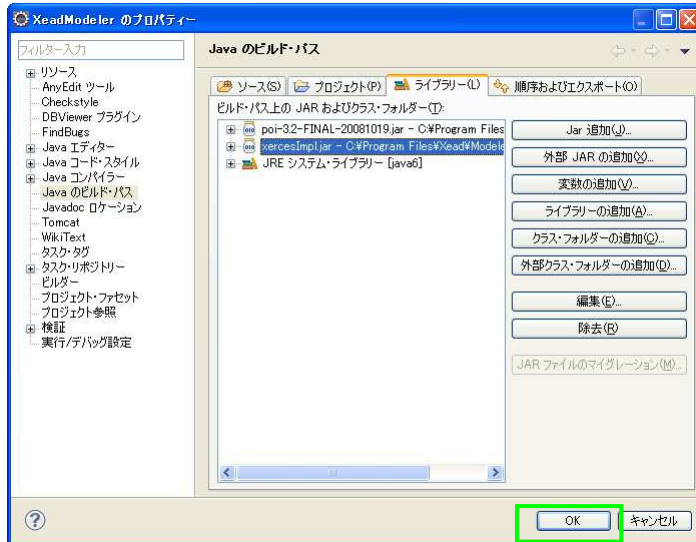
[ライブラリー] タブをクリックし、『poi-32-FINAL-20081019.jar を選択し』、[編集] をクリックしてください。JAR の編集ダイアログが表示されます。

ファイル名に『C:\Program Files\Xead\XeadModeler\poi-32-FINAL-20081019.jar』を指定してください。

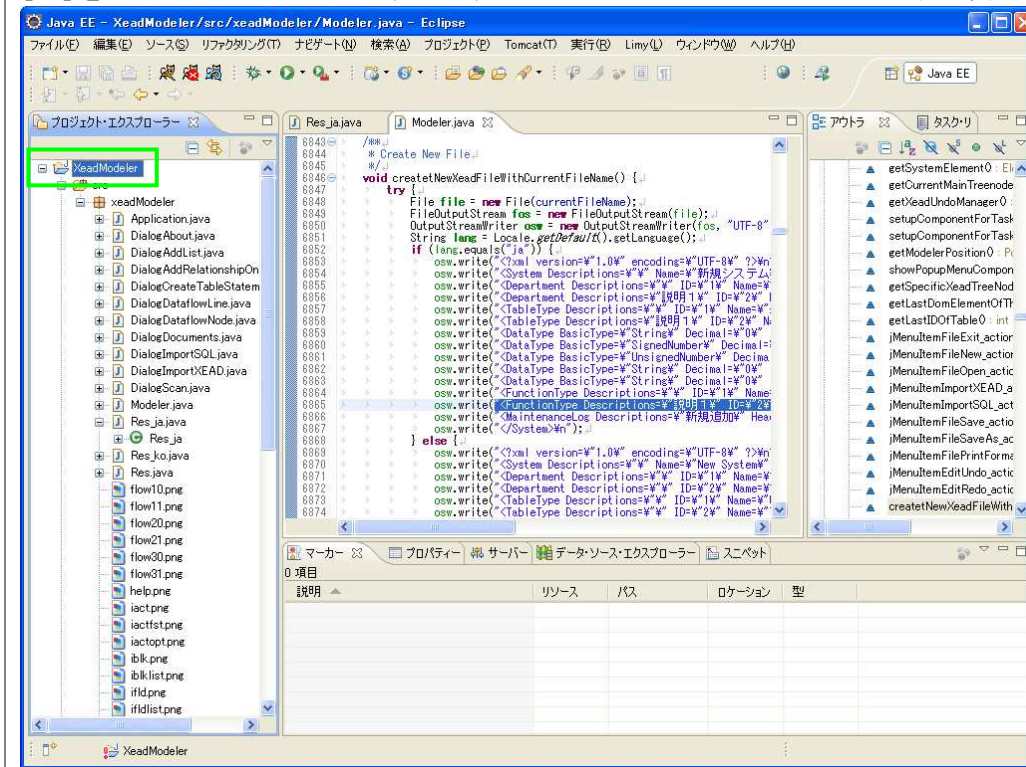


エラー表示が消えました。

同じように、『xercesImpl.jar』も再指定してください。

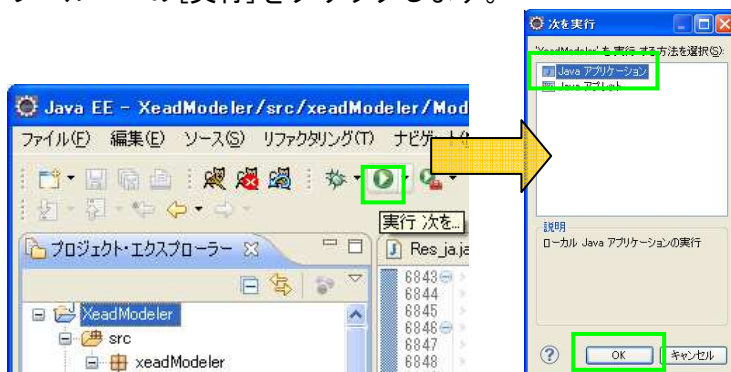


[OK] をクリックしてしばらくすると、XeadModeler プロジェクトからエラー表示が消えます。



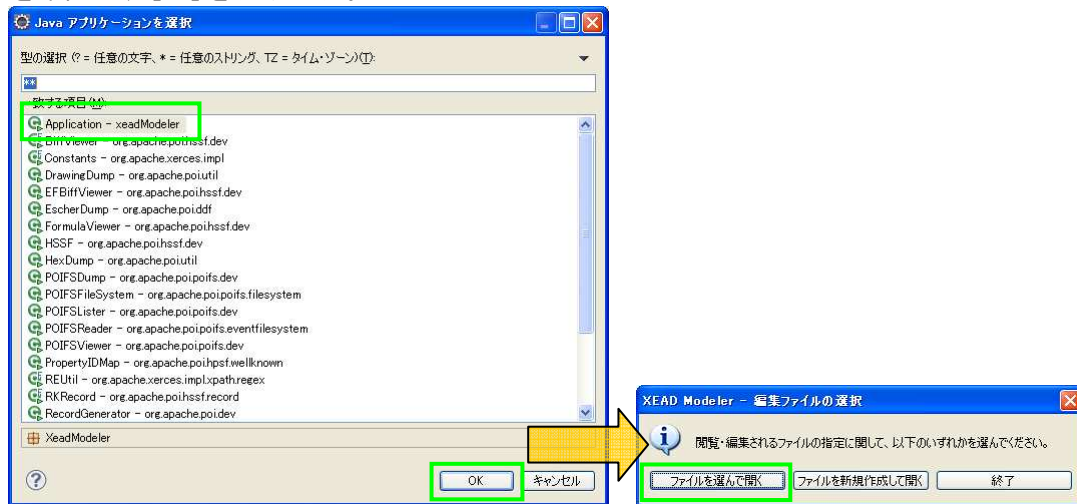
(3) ソースからの実行

ツールバーの[実行]をクリックします。

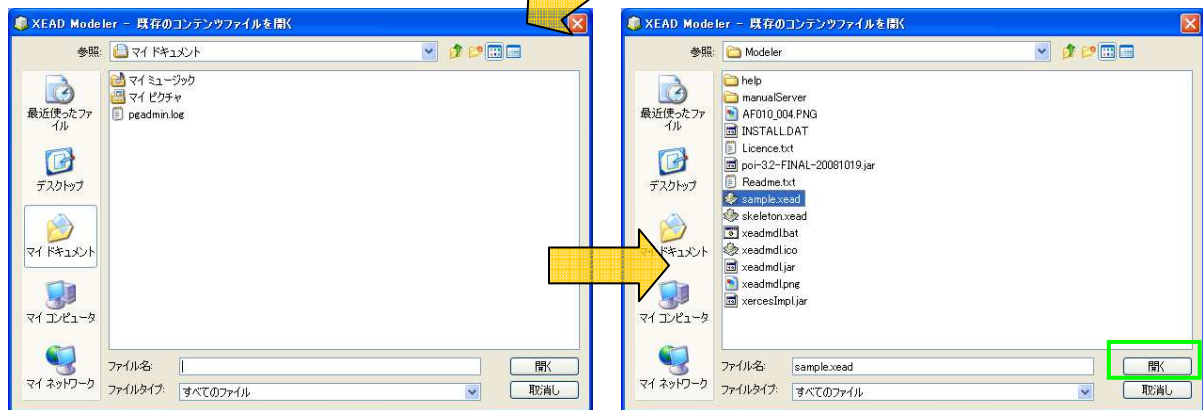


次を実行ダイアログで、
Java アプリケーションを選択して[OK]をクリック

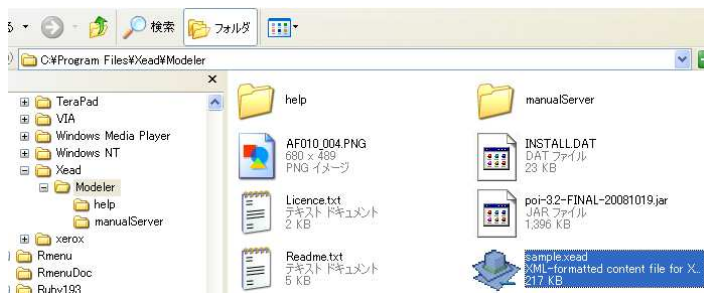
Java アプリケーションを選択ダイアログで、Application - xeadModeler が選択されていることを確認し、[OK]をクリック。



XEAD Modeler が起動しました。



サンプルファイル、『C:\¥Program Files¥Xead¥Modeler¥sample.xead』を開いてください。



sample.xead が開かれました。

